

令和元年度3学期終業式 放送による式辞

令和2年3月23日

兵庫県立神戸北高等学校長 長澤 和弥

生徒の皆さん、おはようございます。

いつものように太陽は昇って沈み、日常の景色はこれまでと変わりませんが、私たちの誰一人経験したことのない非常事態的状况にあり、見えない「敵」と戦っています。日本の国をあげて立ち向かわなければなりません。

3月3日に臨時休校を始めて以来、私たち教職員は、毎日出勤していますが、強い違和感がありました。神鉄車内、唐櫃台駅とその周辺、そして、北高内。どこにも、北高生の姿が全くありません。

普通は、夏休みのような長い生徒休業中でも、生徒の姿が全くないなんてことはあり得ないわけです。私たち教職員にとっても、全員が初めて経験する異様な状況でした。

日本国内に関しては、少しずつ出口に近付いているのかも知れませんが、まだまだ事態は収拾しているとは言えず、急激な変化が起きる可能性は残っています。

本日、まず、今後の学校生活の見通しについてお知らせします。

本日現在、兵庫県教育委員会は「新学期については、例年どおりとする方向」としています。つまり、4月8日からは、通常どおりの登校となる見込みです。

春休み中の部活動については、条件付きで可能としています。詳細については、北高ブログ3月18日「北高 校長室から」第141号を見てください。概要は次のとおりです。

- 活動場所：学校内のみとする
- 活動時間：1日2時間を上限とする
- 活動を行わない日の設定：少なくとも月～金に2日及び土日に1日の、計週3日は休みとすること
- 対外試合・合同練習・合宿について：認めない

言うまでもなく、屋内・屋外を問わず、「密集を避ける」「換気をよくする」「飛沫感染となる会話等には注意する」という大原則の下での活動となります。

また、以上のことは、北高だけでなく、全ての県立高校で同じ扱いとなっています。

次に、当初3月9日と10日に予定していた「登校日」を中止にする連絡は、緊急ではありませんでしたが、「ネット」を駆使して行い、結果的には、ほぼ全校生に中止の連絡が行き届いたようです。予め「定期的にブログを見るように」と連絡していたと言うものの、ネットの威力に感心するやら安心するやら、でした。

今後とも「緊急連絡」の可能性は十分にあります。その場合には、北高公式サイト、北高ブログ、ツイッター、(登録者への)メール配信にて行いますが、この最後の「メール配信」に関して、お知らせがあります。

今年度まで契約している業者のシステムでは、学校全体として登録できるアドレス数に限りがあり、「たくさん登録してください」と言いづらくなっています。実際の登録数も、全校生徒数に対して非常に低いのが現状です。このため、新年度／来月からは、料金は変わらず、アドレス登録数に制限がない業者に変更します。

新学期早々には、全校生に案内しますので、生徒の皆さん、保護者の方やほかのご家族の方など、ぜひ多く登録してください。登録は「空メール」を送るだけです。

今年度には、現在のコロナウイルス、昨年度には、「天変地異」とも思えるような度重なる異常気象が起きました。今後の予測不可能な緊急事態に備えて、色々な連絡方法を確保しておきたいと思います。

最後に一点、7月末に出発を予定しているタイ王国への研修旅行についてお知らせします。

今後の状況によっては、延期や中止の可能性も視野に入れてはいますが、現在のところは、延期でも中止でもなく、予定は変えていません。そして、旅行業者とも相談しながら状況を見極め、延期や中止をしないのであれば、5月頃までに募集を始めたいと思います。

このタイ研修旅行については、各方面から肯定的なご意見をいただいていますので、できる限り中止は避け、今のところは、予定通りか延期で対応したいとは考えています。